



Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

祝「卒業」私学協会長賞には小瀬村君ら5名

3月3日に第73回(通算97回)卒業証書授与式が行われました。沼津中央高校で過ごした日々が、これからの糧となることを願っています。3年生のみなさん、大きく羽ばたいてください。なお、私学協会長賞には各コースから学業をはじめ、諸活動において他の模範となった生徒たちがコースを代表して表彰されました。表彰者の一覧は下記の通りです。おめでとうございます。高校生活での経験を今後
に生かして活躍されることを期待しています。

アドバンスコース 小瀬村雄大君(小田原泉中出身)

医療・福祉コース 芦川実柚さん(今沢中出身)

工芸デザインコース 宗村真彩さん(御殿場出身)

情報ビジネスコース 篠崎空斗君(大岡中出身)

生活文化コース 手登根美羽さん(大岡中出身)



生活文化コース 家庭科技術検定三冠“全員合格” 四冠は県内唯一で溝口さん

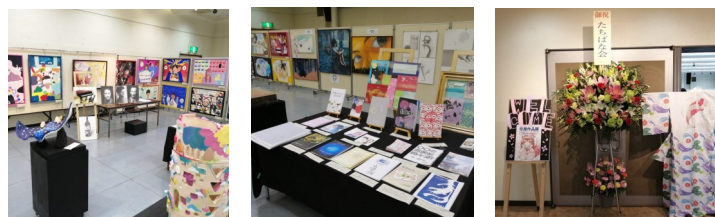
文部科学省後援全国高等学校家庭科技術検定の三種目で一級に合格する“三冠”を生活文化コースの全員(県内最多)が達成しました。三種目(和服、洋服、食物調理)に保育検定を加えた四冠には溝口奈々子さん(沼津第五中出身)が県内で唯一の四冠達成者となりました。



工芸デザインコース

第17回「卒業作品展」が大盛況！

第17回工芸デザインコース「卒業作品展」が2月10日(水)から16日(火)までインパシプラザ4Fホールにて行われ、今年も多くの方々にご来場いただきました。誠にありがとうございました。なお、この様子は沼津朝日新聞(月日付)に掲載されました。工芸デザインコースでは陶芸、染色、絵画、コンピュータグラフィックスなどを学び、コンテストでの入賞など生徒たちの感性と表現力が高く評価されています。



医療・福祉コースの3年生

「学習発表会」で集大成

医療・福祉コースの学習発表会が今年も行われました。3年生から2年生へ、2年生から1年生へと、普段の福祉の授業で学んだことをプレゼンテーション形式で発表しました。1年間の集大成を発表することで、発表者側も参加者側も有意義な経験を行うことができました。



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶





Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

アメリカの高校生とチャットで「国際交流」 Google meet の活用、素敵な年賀状も

修学旅行や語学研修で相互交流している、アメリカ・ロスアラミトス高校の生徒たちから年賀状が届きました。年賀状は日本アニメのキャラクターなど、日本文化に親しみをを感じる物が多くありました。コロナが収まって直接会えることを願っています。コロナで直接会う機会はありませんでしたが、アドバンスコースの2年生の英語の授業ではGoogle meetを活用してロスアラミトス高校の生徒たちとインターネットを通じて国際交流を行い、コミュニケーションを取ることができました。今年は予定していたロサンゼルス修学旅行が中止となり、例年現地で交流をしているロスアラミトス高校の生徒たちは今も家庭でのオンライン学習の日々が続いています。ネットをつないで顔を見ながら交流をし、英語と日本語を交えてお互いの状況や趣味のことなど、楽しく会話をすることができました。交流2回目ではインターネットで中継をつないで、沼津中央高校の施設を紹介しました。映像を映しながら、英語で説明を行いました。校内の様子は日米で全く違うので、画面の向こうのアメリカの生徒たちは画面に釘付けになり、「これは何のため？こういう時はどうするの？」などの質問が飛び交っていました。



1人1台タブレット、ICTの活用 社会で役立つICTスキルを育む

1人1台タブレット
ICT環境の整備と活用

Office 365
G Suite
Classi
NC予備校
オリジナル
限定公開教材

社会で役立つ
ICT活用スキルを育む

多様な学び
学びの個別化
最適化された学び

モデルは山本梨緒さん(1年・田子浦中出身)

あらゆる分野でICTを活用することが主流となっており、教育分野も大きく変革しようとしています。小・中学校ではすべての児童生徒の「1人1台端末」等のICT環境を整備する「GIGAスクール構想の実現」を当初予定していた2023年の達成目標より前倒しすることになりました。本校でも多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、かつ公正で個別に最適化された創造性を育む学びを実現するため、教材としてタブレットを全校で一斉に導入いたします。また、スマートフォンは今年度中に複数回の試行期間を経て、来年度より生徒自身が自己管理する予定です。



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶





Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

軽音楽部「県新人大会でLiLacが優秀賞」 君山さん(1年・長泉中出身)がベストベーシスト賞

12月27日(日)に行われた高文連主催第5回静岡県高等学校軽音楽新人大会のコピー曲部門において、本校の軽音楽部のバンド「LiLac(ライラック)」が優秀賞(1位)、「ゲエテ」が奨励賞(2位)を受賞し、オリジナル曲部門では「グリンピース」が奨励賞(4位)を受賞しました。また、ベストプレイヤーとして君山のまさん(1年・長泉中出身)がベストベーシスト賞を受賞しました。君山さんは「この賞を励みに、そして賞に恥じないように頑張ります」と話してくれました。リーダーの加藤君(1年・対島中出身)は「次はオリジナル曲で全国を目指したい」と語ってくれました。



LiLac
16HR 加藤 悠虎 GtVo 12HR 植田 舞琴 Gt
14HR 君山のま Ba 12HR 加藤 泰斗 Dr



男子バスケットボール部 県新人大会東部予選優勝

男子バスケットボール部が県新人大会東部予選において優勝しました。また、令和2年度静岡県バスケットボール協会U18優秀選手に新井 楽人君(2年・蟹江中出身)が選出されました。(写真は静岡県バスケットボール協会HPより)



生活文化コース

「手作り味噌が出来たってよ」

生活文化コースの3年生が、7月に仕込んだ手作り味噌を使って調理実習を行いました。生徒たちは「自分で味噌を作れるなんて感動した。家のよりも塩分が濃くなってしまった」と話していました。家に持ち帰ったので、家庭でも美味しい料理を振る舞ってくれたことでしょう。



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶





Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

球技大会で白熱の大激戦！

あれっ!?理事長先生がテニスコートに…

12月14日(月)に球技大会が行われました。競技種目は、ドッジボール、サッカー、バスケットボール、バレーボール、テニス、バドミントン、卓球、マリオテニスです。どの競技も白熱した試合が展開されていました。本館ホールで行われたバドミントンでは、男女バドミントン部の部員が審判を担当し、普段はあまりバドミントンをする機会がない生徒が真剣に試合に臨みました。アドバンスコースの運動部が活躍する中、男子決勝は工芸デザインコースの2年vs3年の対決！1点差までもつれこむギリギリの試合もあり、白熱した勝負が数多く繰り広げられました。また、テニスコースでは理事長先生も生徒たちと一緒に汗を流しました。理事長先生は「転校生のような気持ちでプレーした」とおっしゃっていました。



軽音楽部「県新人大会へ」

11月に静岡県高等学校軽音楽新人大会の予選が行われ、本校からは3バンドが本選進出を勝ち取りました。本選は12月27日(日)に「しずぎんホールユーフオニア」で開催されます。コロナの影響により無観客で行いますが、大会の様子はライブ配信される予定です。大会はオリジナル曲部門とコピー曲部門があり、オリジナル曲部門には「グリンピース」が出演します。部長でありバンドリーダーである小川ふゆねさん(2年・大岡中出身)が中心となって作曲をしました。初のオリジナル曲を大会で披露します。コピー曲部門には「ゲテ」と「LiLac」が出演します。「LiLac」は全員1年生のバンドながらも2年生に負けない演奏力を持っています。今大会でどこまで結果を残せるか期待できます。



男子バスケットボール部 向岳寮生「千本賞」

12月13日(日)に沼津千本ライオンズクラブ・沼津千本ライオンズクラブ主催で行われた「千本賞」の表彰式に男子バスケットボール部が出席してきました。男子バスケットボール部の寮生は近隣の清掃を継続的に実施し、地域貢献をしていることが認められ受賞となりました。



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶



2020年度 第8号
発行日:2020. 11. 30
編集:募集広報課



沼津中央高等学校

Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

2021年度入学生より制服をリニューアル 新制服はエンジを基調にした斬新なデザイン

2023年に創立100周年を迎えるにあたり、2021年度入学生より制服をリニューアル。2021年度入学生より制服が新しくなります。新制服の冬服はエンジを基調にした斬新なデザイン。ネクタイとリボンはおしゃれなツートンカラーで女子はネクタイとスラックスも用意しています。夏服は男子がポロシャツスタイル、女子はセーラー服を基本にポロシャツとの組み合わせも用意しています。モデルの山本梨緒さん(1年・田子浦中出身)は「現行モデルの制服もかわいいですが、新制服もすごくかわいい」「私は着ることができないので、すごく羨ましい」と話してくれました。



たちばな祭 Web配信

例年、6月に行うたちばな祭の代替として、Web配信のための撮影が行われ、YouTubeで限定公開しました。各部活動の発表動画は、限定公開で配信され生徒や保護者は各デバイスから視聴して楽しんでいました。



男子バスケットボール部 選抜優勝大会県大会第3位

男子バスケットボール部が選抜優勝大会県大会で第3位となりました。5年ぶりの県制覇を目指しましたが惜しくも準決勝で敗れました。学校関係者をはじめ、多くの方々からの声援が選手の力となりました。応援してくださった皆様に感謝申し上げます。ご声援ありがとうございました。



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶





Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

生活文化コース「寿太郎みかんスイーツコンテスト」 「英語 de cooking!」「手作り絵本制作」「テディベア製作」

生活文化コースの3年生が、沼津の特産品「寿太郎みかん」を使ったスイーツを考案しました。どのグループも、甘いみかんの特徴を生かした見た目にもおいしいスイーツを作っていました。タルトのカップや、上に乗っているオレンジももちろん手作りです。寿太郎みかんを広く知ってもらいPRになりますね！

中野萌さん(清水中出身)は、「私ってパティシエになれるかも!？」と少し自信がついた様子で、いつものように明るく話してくれました。



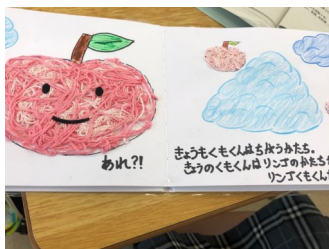
家庭科と英語の融合授業では「英語 de cooking」が行われました。英語で書かれたレシピを見て、イギリスの伝統料理、シェファーズパイとデザートを作りました。大きな失敗もなく、とてもおいしい料理ができ、試食してもらった先生方にも大変喜んでもらえました。料理にも英語にも自信のついた時間となりました。熊谷穂乃香さん(愛鷹中出身)は、授業の感想を「英語に戸惑う場面もあったけど、楽しみながらできた」と話してくれました。



発達と保育の授業では、自分の作った絵本の読み聞かせ実習を行いました。2、3歳の幼児を対象に社会のルールを教えたり、優しい心を育てるという教育的背景を考えた物語で絵本を作りました。中身は幼児の興味を惹くように、かわいらしい絵を描いたものもあれば、糸を使って立体的にしたり、飛び出す工夫を仕込んでいるものもありました。読み聞かせも効果音や声の強弱を入れて、とても楽しい内容になっていました。また、お互いの絵本や読み方を評価し、感想を伝え合いました。



こちらのテディベア、なんと生活文化コースの3年生が作りました。生地や装飾などを自分で選び、個性豊かなテディベアが並びました。購入したもののように見えませんか？小林美結さん(富岡中出身)は「顔と胴体をつなげるのが難しかったけど、完成したときには自分好みのかわいいテディベアになりました」と笑顔で話してくれました。



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶





Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

秋鹿敏雄理事長が学園の顧問に 後任の第4代理事長には秋鹿研一先生が就任



第3代理事長の秋鹿敏雄先生が学園の顧問に就任し、第4代理事長に秋鹿研一先生が就任されましたので報告いたします(以下、就任の挨拶)。

「私は前理事長の秋鹿敏雄の従兄弟に当たります。長い間、東京工業大学や放送大学の教員として働き、最近では国の科学技術プロジェクトのまとめ役などを行ってきました。これらの経験を本校の教育に少しでも役立てたいと思っています。高校生と一緒に活動するのは初めてですが、若い人は大好きです。皆様が学園の内外で活躍する姿はこの10年間で、評議員を勤める中で知っています。出来るだけ早く、生徒、教職員の皆様の活動に溶け込みたいと思っています。この学園は前理事長が40数年に亘り、教職員と共に時代に合わせた改革をしてきました。現在、5コース制の中で本校生徒は社会を近くに感じながら、目的を持ってそれぞれが生きる力を伸ばしていると思います。もうすぐ100周年ですが、100年間の関係者の支援に感謝しつつ、地域と共に新たな発展をしたいと祈念しています。よろしくお願いします。」

情報ビジネスコースの高瀬さん 日本語ワープロ検定準1級に合格

日本語ワープロ検定試験において情報ビジネスコースの高瀬愛美さん(2年・清水中出身)さんが準1級に合格しました。1年生のときから情報処理などに高い関心を持っていた高瀬さんは、今回2度目の挑戦で合格することができました。これからも技術に磨きをかけて、能力を伸ばしていけるよう応援しています。おめでとございます！なお、他にも多くの生徒が検定に合格しました。また、副枝愛斗君(2年・愛鷹中出身)が情報処理技能検定において満点で合格するなど、力を発揮してくれました。準1級に合格した高瀬さんは「1度は不合格になったけど、諦めずに頑張ったよかった」、満点合格の副枝君は「満点が取れるとは思ってなかったので素直に嬉しい。情報ビジネスコースはたくさんの資格が取れるので、次の検定も頑張りたい」とコメントしてくれました。

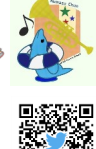


生活文化コースの3年生 「浴衣の余り生地で作ったマスク製作」

生活文化コースの3年生が家庭科被服製作技術検定1級(和服)の受検で製作した浴衣の余り生地を使用して、マスクを製作しました。中にはマスクシートが入られるようになっています。出身中学の先生方にプレゼントするために心を込めて作りました。また、各自で作った浴衣を自分たちで着付け、撮影をしました。この浴衣はそれぞれのサイズに合わせ、一から製作したものです。着付、帯締めも自分たちで行いました。今年は夏祭りの中止で浴衣を着る機会も見られる機会も少なかった分、夏の華やかな雰囲気を楽しむことができました。



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶



2020年度 第5号

発行日:2020.08.31

編集:募集広報課



沼津中央高等学校



Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

全国高等学校総合文化祭WEB SOUBUN出場

創部初の全国の舞台で「深夜10sion」が躍動！！

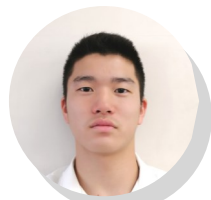
軽音楽部が第44回全国高校総合文化祭「2020 とうち総文」WEB SOUBUNに出場しました。12月にグランシップ静岡で行われた第4回静岡県高等学校軽音楽新人大会のオリジナル曲部門において、バンド「深夜10sion」が最優秀賞(静岡県1位)を受賞し、静岡県代表として全国切符を勝ち取りました。新型コロナウイルスの影響を受け、初めてインターネットを活用したWEB SOUBUNとなり10月31日まで開催されています。また、深夜10sionは静岡県高等学校軽音楽大会でもコピー曲部門で優秀賞を受賞し、個人では田中洸太郎君(3年・初島中出身)がベストギタリスト賞に輝きました。



高体連東部優秀選手に2名が選出

日本漢字能力検定2級に渡辺さん

男子バスケットボール部の小瀬村雄大君(3年・小田原泉中出身)と村上瑠惟君(3年・函南東中出身)が高体連東部優秀選手に選出されました。また、渡辺蘭さん(2年・金岡中出身)が日本漢字能力検定の2級に合格しました。渡辺さんのほかにも多くの生徒が各級に合格しています。本校では検定の合格に向けた講座が開講されており、放課後は熱心に勉強する生徒の姿があります。特に検定の直前には、職員室に質問に訪れるなど、頑張っている様子が見受けられます。今後もコースの特色を生かした検定の合格者などを紹介できればと思います。



小瀬村雄大君



村上瑠惟君



渡辺蘭さん

各部活動の様子

現在、男子バレーボール同好会は3年生2名、1年生10名で活動しています。土曜日は沼津市民体育館で聴覚支援学校の生徒や小学生と親睦を深めながら、幅広い人とのバレーボールを行う“バレー教室”を行っています。バドミントン部は男子34名、女子12名で活動をしており、本校の中でも人数がとて多く活気にあふれている部活動です。男女ともに目標である“県大会出場”を目指して日々、楽しく練習に励んでいます。ソフトテニス部は先日の東部大会で女子が5ペア出場し、3ペアが2回戦へ進出しました。どの部活動も夏の暑い日差しの中も毎日練習に励み、技術を向上させています。9月に行われる新人戦も頑張ってください！



沼津中央高等学校

学校公式
アカウント



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶



2020年度 第4号

発行日:2020.07.31

編集:募集広報課



沼津中央高等学校



Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

熊谷君(工芸デザインコース2年・金岡中出身)が金賞！ 【銀座ライオンpresents】#うちで過ごそう 大人の塗り絵コンテスト

工芸デザインコースの2年生がコンピュータデザインの授業で取り組んで応募した「銀座ライオン大人の塗り絵コンテスト」で熊谷幸浩君(金岡中出身)が金賞に輝きました。このコンテストは、コロナウイルス対策で外出を自粛することが増える中で、応援企画として開始されたもので、用意された塗り絵は「銀座のビヤホールで出逢った運命のひと」がテーマ。熊谷君は「もう少し時間があれば手を加えたいところがあったけど、限られた時間の中で精一杯取り組むことができました」と話してくれました。熊谷君には賞状と副賞が、応募者全員に参加賞のトートバッグが送られました。これからも素敵な作品を創ってほしいですね。



「手作り医療用ガウンの寄付」 医療・福祉コース

医療・福祉コースの2年生が授業内で製作した医療用のガウンを沼津市内の介護付き有料老人ホームに寄付しました。代表生徒2名が施設に伺い、製作した医療用のガウンを手渡しました。伊倉ひなたさん(御殿場中出身)と松下心優さん(沼津第一中出身)は「介護を頑張っている人が感染しないよう、安全を守りたいと思って作りました」と話してくれました。なお、この様子は静岡新聞(7月7日付)に掲載されました。

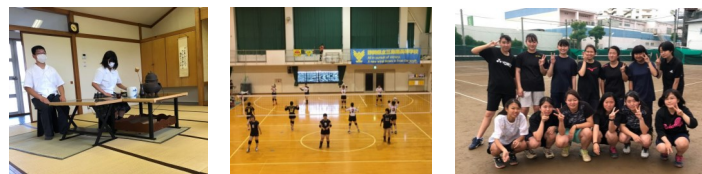
学校独自のWi-FiでWEB集会に挑戦

新型コロナウイルスの予防という観点から全校集会ではなくWEB集会という形で校長講話を行いました。事前に学校長がYouTubeに公開してあった動画を全校生徒が全校舎にある学校独自のWi-Fiを用いて各自のスマートフォンとイヤホンで視聴しました。スマートフォンがない生徒もクラスメイトに見せてもらいながら視聴していました。本校にとっても初めての試みでしたが、生徒たちが熱心に動画を視聴をしている姿が印象的でした。



各部活動の様子

6月12日に部活登録を終え、各部とも新体制での活動が始まっています。茶道部は講師の先生をお招きし、お茶の点て方を学んでいます。日本の伝統文化を大事にしていこうという心はとても素晴らしいですね。運動部はインターハイ予選の代替試合が始まっており、これまでの練習の成果を発揮しようと一人ひとりが精一杯頑張っています。



手作りのガウン寄贈
沼津中央高2年生
コロナ対策に実習先施設へ

伊倉・東部

ガウンを手渡す松下心優さん(左)と伊倉ひなたさん(中)

沼津市オーチャード沼津

2年生は、医療・福祉コースの授業で、医療用のガウンを手作りしました。伊倉ひなたさん(御殿場中出身)と松下心優さん(沼津第一中出身)は「介護を頑張っている人が感染しないよう、安全を守りたいと思って作りました」と話してくれました。なお、この様子は静岡新聞(7月7日付)に掲載されました。



沼津中央高等学校
学校公式
アカウント



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶



2020年度 第3号

発行日:2020.06.30

編集:募集広報課



沼津中央高等学校

Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

2021年度入学生より制服をリニューアル 新制服はエンジを基調にした斬新なデザイン

2023年に創立100周年を迎えるにあたり、2021年度入学生より制服をリニューアルします。ポロシャツ
新制服はエンジを基調にした斬新なデザインで、ネクタイとリボンはおしゃれなツートン
カラー、女子はリボン・ネクタイを選ぶことができ、スラックスも用意しています。モデルは
左から2年生の芹沢君(原里中出身)、稲餅さん(韮山中出身)、渡邊さん(山田中出身)
です。夏服については8月頃公開予定です。また、100周年に向けて職員のポロシャツを
製作しました。デザインは昨年度の卒業生で工芸デザインコースに所属していた齊藤優愛
さん(北上中出身)の作品です。菅谷瑞希さん(1年・清水中出身)は新制服について
「今の制服も可愛くて人気があるけれど、新しい制服も斬新でかっこいい。着てみたい」
と話してくれました。生活文化コースで生徒会長の宮城ゆきさん(3年・三島北中出身)と
同コースの溝口奈々子さん(3年・沼津第五中出身)はポロシャツのデザインについて
「沖縄をイメージしたと聞いた。すごくかっこいい」と語ってくれました。



新制服

「高3部活の雄姿 記念写真撮影」 静岡新聞掲載(5月29日付)

沼津市の大田呉服店グループSAKURA first stageさんに、3年生の
部活写真を撮っていただきました。コロナウィルスの影響で、今年の
インターハイ関連の大会はすべて中止となってしまいました。そこで、
3年生のこれまでの部活の活動の記念にと、声を掛けて下さいました。
撮影に臨んだ各部とも、久しぶりにユニフォームに袖を通し、仲間と汗を
流した思い出を語りながら楽しいひと時を過ごすことができました。



手作り医療用ガウンの寄付

医療・福祉コースの3年生が授業内で製作した医療用のガウンを沼津
市内の医療施設に寄付しました。代表生徒2名が施設に伺い、製作し
た医療用のガウンを手渡しました。生徒たちは
「自分たちの製作したガウンが少しでも役立て
ば…」と話していました。なお、この様子は沼津
朝日新聞(6月10日付)に掲載されました。



プロ選手来校に地域貢献(向岳寮)

本校出身プロバスケットボール選手の山口さんが来校され、男子バス
ケットボール部にアドバイスしていただきました。本校事務室前に、
山口さんの直筆サインが掲示されているので来校の際は是非ご覧ください。
また、先日学校近隣の自治会長
さんから「お礼の手紙」が届きました。
向岳寮周辺の道路や側溝の清掃活動
に対する感謝の言葉と「地域貢献をする
高校生の清々しい姿に明るい未来を
感じた」という内容のものでした。



沼津中央高等学校

学校公式
アカウント



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶



2020年度 第2号

発行日:2020.05.29

編集:募集広報課



沼津中央高等学校

Student News



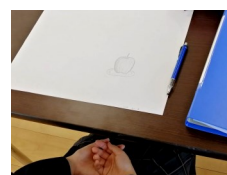
人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

休校中の登校日の様子

医療・福祉コース「感染予防のための正しい手洗い方法を学ぶ」

生活文化コース「コース基礎で1年生がオリジナルマスクの製作」

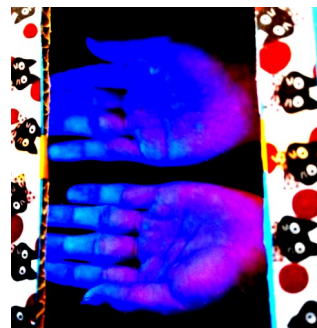
オンライン学習では実現できない実技科目や体験を伴う授業は登校日に授業を展開しています。現在は分散登校で生徒たちは1週間に1回の登校となっていますが、毎日の検温チェック、玄関口でのアルコール消毒、校内での3蜜を避け十分な換気をするなど感染拡大防止策をしながら、コースごとの専門科目に重点を置いて授業を進めています。



1年生のコース基礎では、授業担当の先生からコースの紹介やこれからのコース選択を見据えながらコース体験をしてほしいと説明がありました。工芸デザインコースでは、イメージだけでりんごを描き、初めての授業にも関わらず、鉛筆一本だけで影まで描いた生徒が褒められていました。生活文化コースではマスク作りが行われていました。実際に体験しながら自分の進路希望にあったコース選択をしてください。

本校は5つのコースがあり、各コースで特色ある授業が展開されています。休校中の登校日は、学年にこだわることなく、むしろ科目に重点を置いてHRごとの登校となっています。授業担当者がそれぞれ工夫をしながら生徒たちの学習環境を整えています。それと並行して、オンラインで課題の配信やコミュニケーションもとっています。

医療・福祉コースの3年生が正しい手洗い方法について学びました。今回は、実際に医療現場の新人研修でも使用されている試薬を使い、ブラックライトを当てて確認すると手洗いが不十分なところがわかり、普段の手洗いで気をつけたい部分を確認することができました。改めて手洗いの重要性について学び、感染予防のための手洗いについて理解を深めました。



広報めまづ掲載

「地産地消で最優秀賞の卒業生」

卒業生(撮影当時3年)が「おいしく、楽しく、地産地消」というタイトルで広報めまづ(5月1日号)に掲載されました。「沼津の地産地消メニューコンテスト」で、本校の生徒が考案したレシピが最優秀賞に選ばれ、企業の社員食堂や宅配弁当として提供されています。記事では「地元野菜や深海魚の旨みを活かしたメニューが社員さんから好評」、「バラエティ豊かな地元の食材をおいしくアレンジした高校生のアイデアはすごい」と伝えています。



学校案内が完成！

令和2年度の学校案内(令和3年度入学生用)が完成しました。中身は写真も多く、カリキュラムや学校生活の様子がよくわかる内容となっています。多くの在校生に撮影協力をしてもらいました。オープンキャンパスなど中学生向けのイベントや学校行事などでも、生徒たちが撮影を快く引き受けてくれる場面が多く、助かりました。

来年度の入学生より、制服が新しくなります。近日公開！お楽しみに！！



沼津中央高等学校

学校公式
アカウント



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶



2020年度 第1号

発行日:2020.04.27

編集:募集広報課



沼津中央高等学校



Student News



人を応援し、人から応援してもらえる人に
才能、発見！才能を社会に活かす志を育む

祝「入学」新入生総代は齊藤翼君(函南中出身)

4月8日(水)に第97回目の入学式が「精華アリーナ」にて挙行され、新入生255名が入学を許可されました。真新しい制服に身を包み、夢と希望に胸をふくらませ、高校生活がスタートしました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休校措置となり、初期指導合宿のほか授業や学校行事の遅れや延期・中止を余儀なくされてしまいました。1日でも早く、活気のある学校生活が取り戻せたらと思います。



新入生代表の言葉



入学式に臨む新入生



校長式辞



学級開きの様子

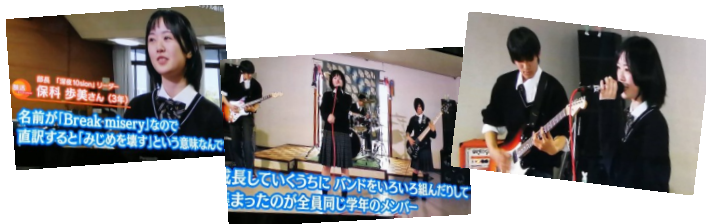
休校中はオンラインで学習支援 ICTの活用で広がる可能性

休校中は授業の代替として、ICTを活用した教材の配信を行っています。オンラインで教員と生徒が繋がり、学習支援をしています。ICTの活用は学校再開後も必要不可欠で、今後の教育の幅を広げてくれることでしょう。また、今年度より「NC予備校」が開講され、学業特待生のほか希望者が参加できる講座となります。先生方の中には教材研究の傍ら、マスク製作をする姿もありました。



軽音楽部「部活@SHIZUOKA」に出演！

軽音楽部が4月14日(火)放送の静岡朝日テレビ「部活@SHIZUOKA」に出演しました。パート練習のほか、昨年の新人大会で優勝した「深夜10sion」のバンド演奏、メンバーへの質疑応答で盛り上がりしました。



卒業生の歌手フルヤトモヒロさん 「手洗い歌制作、動画で発信」

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、本校の卒業生でシンガー・ソングライターのフルヤトモヒロさんが手洗いソングを制作し、Twitterで動画を発信しています。シンプルな歌詞と親しみやすいテンポで正しい手洗いを呼び掛けました。また、フルヤさんは日本パラサイクリング連盟や三島市を拠点に活動するVリーグ男子東レアローズの公認応援ソングも手がけています。なお、この様子は静岡新聞(4月18日付)に掲載されました。



2019年度「卒業証書授与式」

3月4日(水)に2019年度の卒業証書授与式(通算96回)が挙行されました。式を終えた後の最後のホームルームでは涙をみせる生徒も多くおり、担任共々感無量の様子でした。沼津中央高校で過ごした日々が、これからの糧となることを願っています。



以下は2019年度をもってご退職された先生方です。富田浩生先生(数学科・H16.4～)、杉本のり子先生(福祉科・H17.4～)、田中久代先生(英語科・H24.4～)、ありがとうございました。

沼津中央高等学校

学校公式
アカウント



各部活動の
各種SNS
公式アカウント
はこちら▶

